

荒川でちょっといいこと ごみ拾い ～ 市民活動の取組みと川ごみの現状～

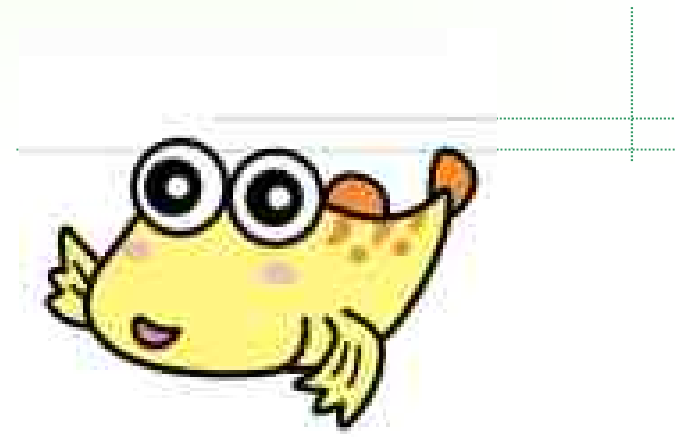


2016年1月24日 新春 海ごみシンポジウム

NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム 伊藤 浩子

CONTENTS

- . 荒川と、荒川クリーンエイドについて
- . 荒川のごみの現状と課題
 1. ごみの状況
 2. ごみの発生原因
 3. ごみのリスク
- . これからに向かって
荒川で / 全国で

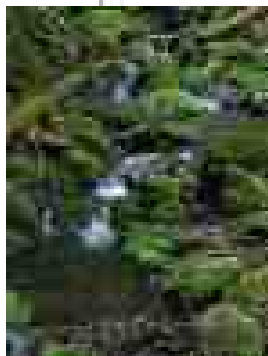


・荒川と、荒川クリーンエイドについて

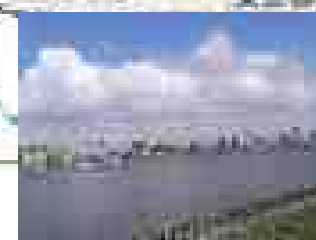


荒川の状況

荒川は、埼玉県の秩父から熊谷、東京の北東部(下町)を通して東京湾へと注ぎます



- 流域面積：2,940km²
- 幹線流路延長：173km
- 流域内人口：約1000万人
- 人口密度：3,400人/km²





都市に残された貴重な自然として、
多くの生き物、人々の憩いの場となっている。

荒川でのごみ問題

ヨシ原で
営巣する
オオヨシキリ



首都圏で多くの流域人口を抱えて流れる荒川には、多くのごみが集積し、放置されていた。



荒川でのごみ問題

ごみによって、自然が壊され、
生き物たちへの悪影響が
心配された



干潟に
生息する
トビハゼ

荒川クリーンエイド・フォーラムが目指すもの

Clean (きれいにする) +Aid(助ける)

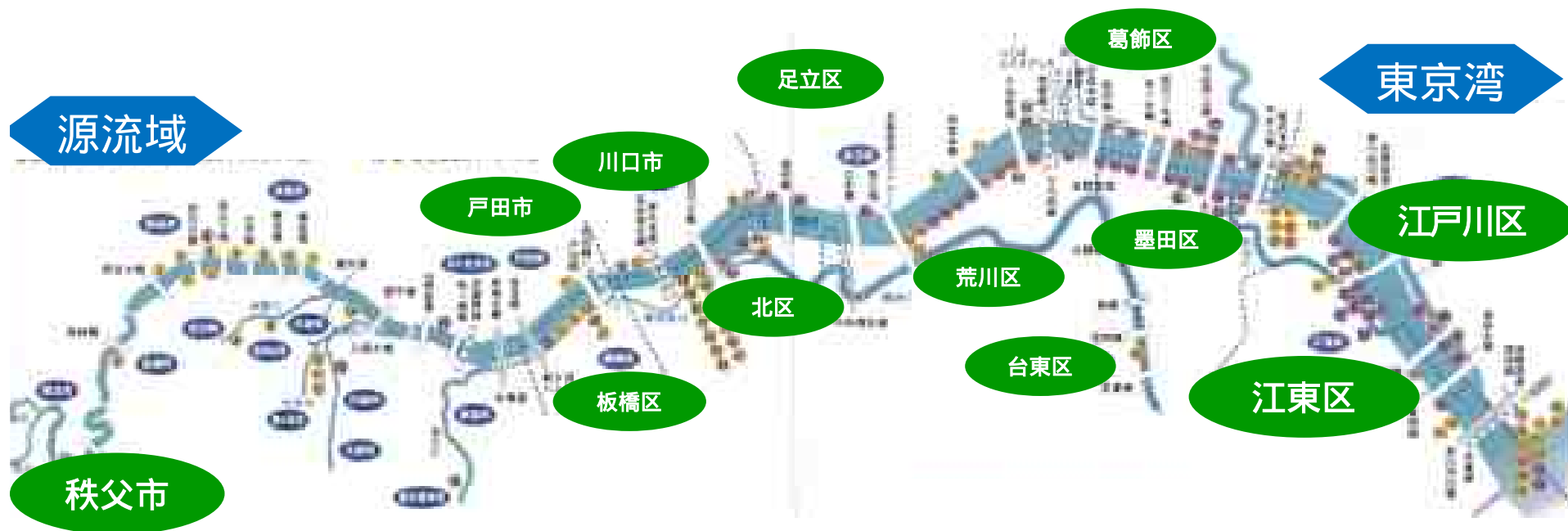
クリーンエイドとは、
川のごみを拾って、
自然が回復するのを助ける活動です。

荒川クリーンエイド・フォーラムが
目指すもの

未来を担う子どもたちに、豊かな自然を残すため、
荒川流域でのごみ拾いを中心とした取り組みを通して、
市民の環境保全意識を高め、
生物多様性の保全に貢献します。



源流から河口までのネットワーク



セクター間連携

No. 会場 No.
 主な実施団体のタイプで分類

- 市民団体
- 企業
- 学校
- 自治体

【近年、年間実施は、
100会場以上】

【近年、年間参加者は、
1万人以上】

荒川の源流域(秩父市)から、河口(東京湾)までの、
159会場(回)で、
 それぞれの団体が実施団体として荒川クリーンエイドを
 主催実施。のべ**10,147人**参加(2015年)



多様なセクターとの連携

企業

学校

拾う

集める

企業・学校・市民団体などが、
荒川のごみ拾い・ごみ調査

市民団体

行政・
自治体

回収

連絡

NPO

集積されたごみを
自治体・国土交通省が回収

-aid Forum

調べるごみ拾い

川ゴミ 調査カード

荒川クリーンエイド ゴミ調査カード

荒川クリーンエイド ゴミ調査カード

荒川クリーンエイドでは、
ゴミ調査カードを利用して、
ごみの種類と数を
調べながら拾います

➡ ごみと向き合い、
参加者一人ひとりが
川ごみについて
学べる

➡ ごみの傾向を知る
データ収集 ➡ **発信**

・河川ごみの現状と課題



1

荒川のごみは どうなっているの？

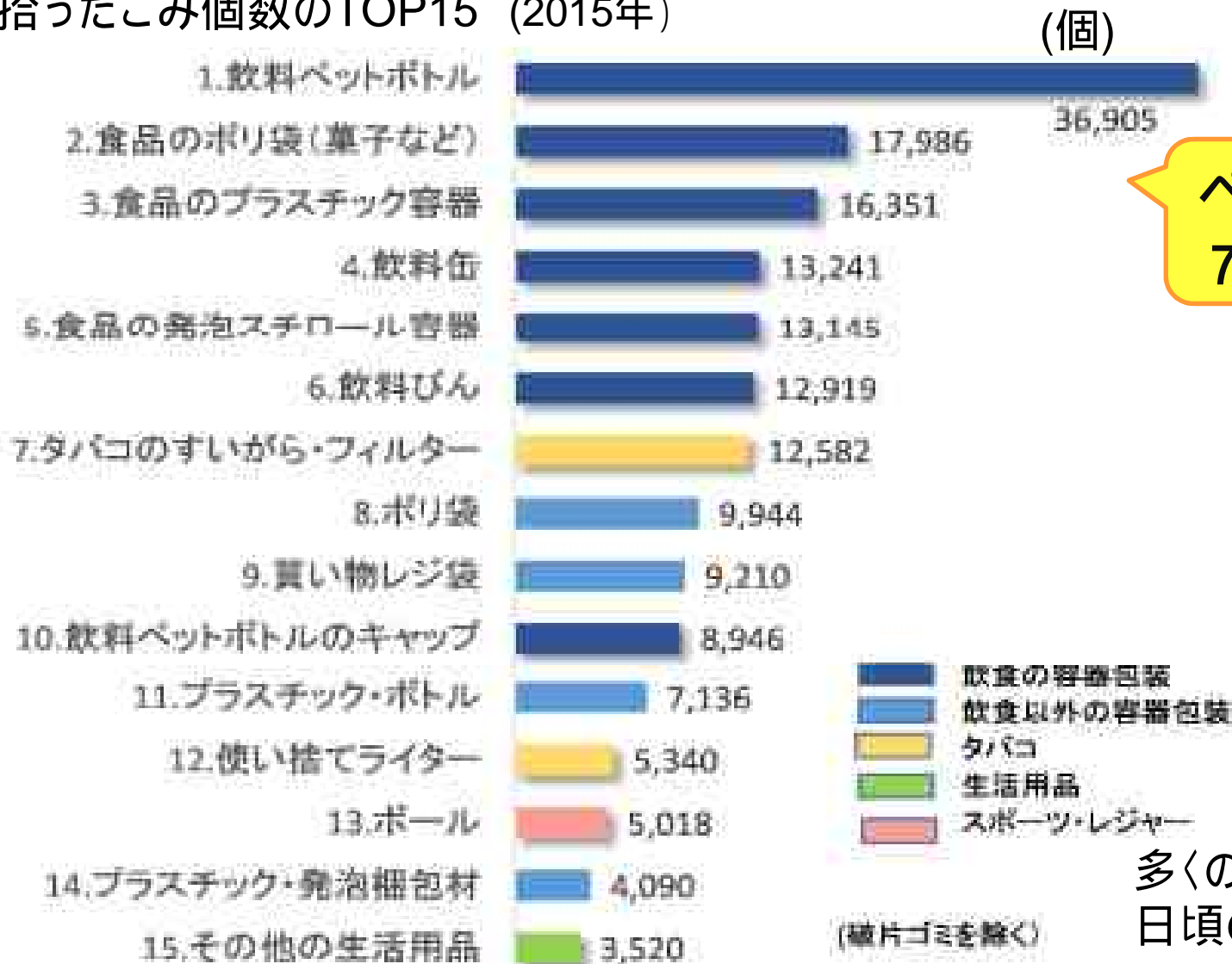
- ごみの状況 -



ごみの状況

～ ペットボトルが群を抜いてトップ～

拾ったごみ個数のTOP15 (2015年)



ペットボトル
7年連続1位

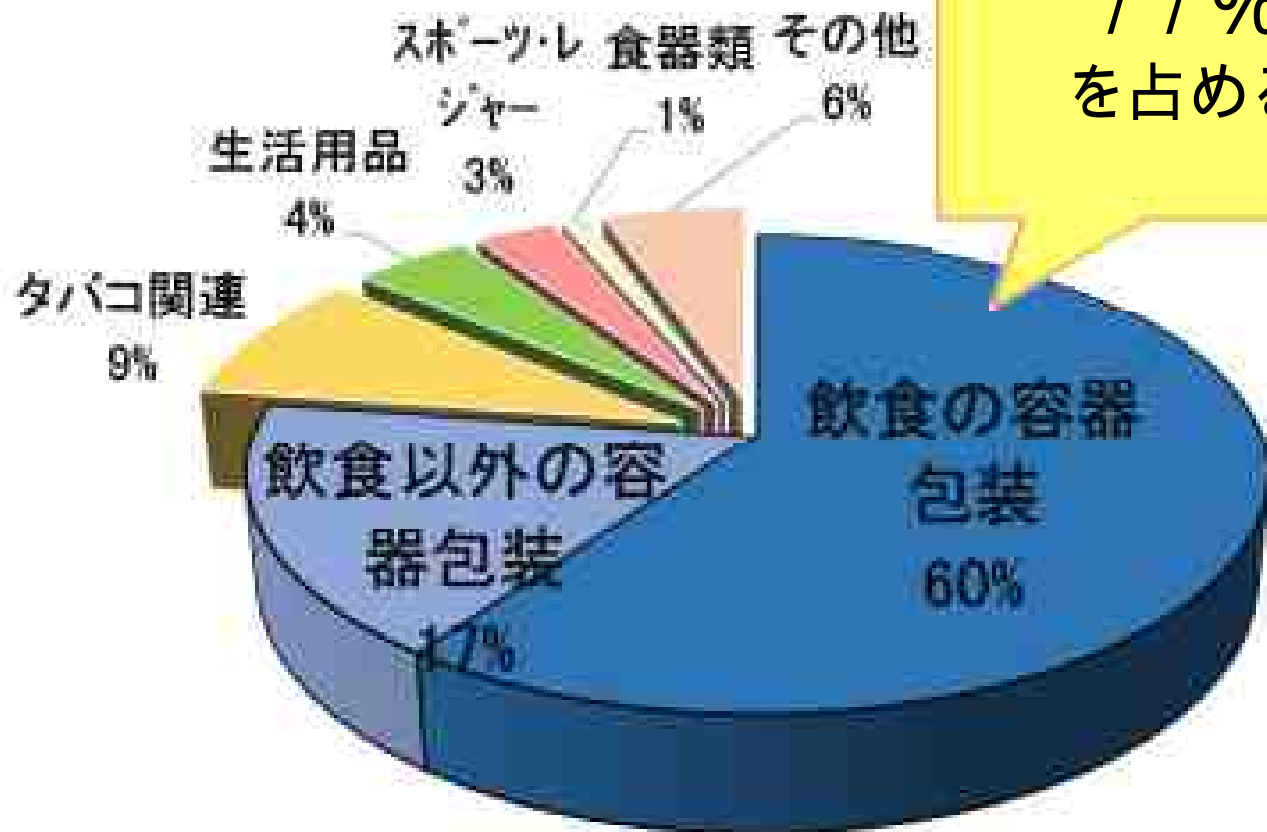
多くのごみは、
日頃の生活から排出

(破片ゴミを除く)

ごみの状況

～ その多くは日頃の生活から排出～

散乱ごみにおける容器包装の比率



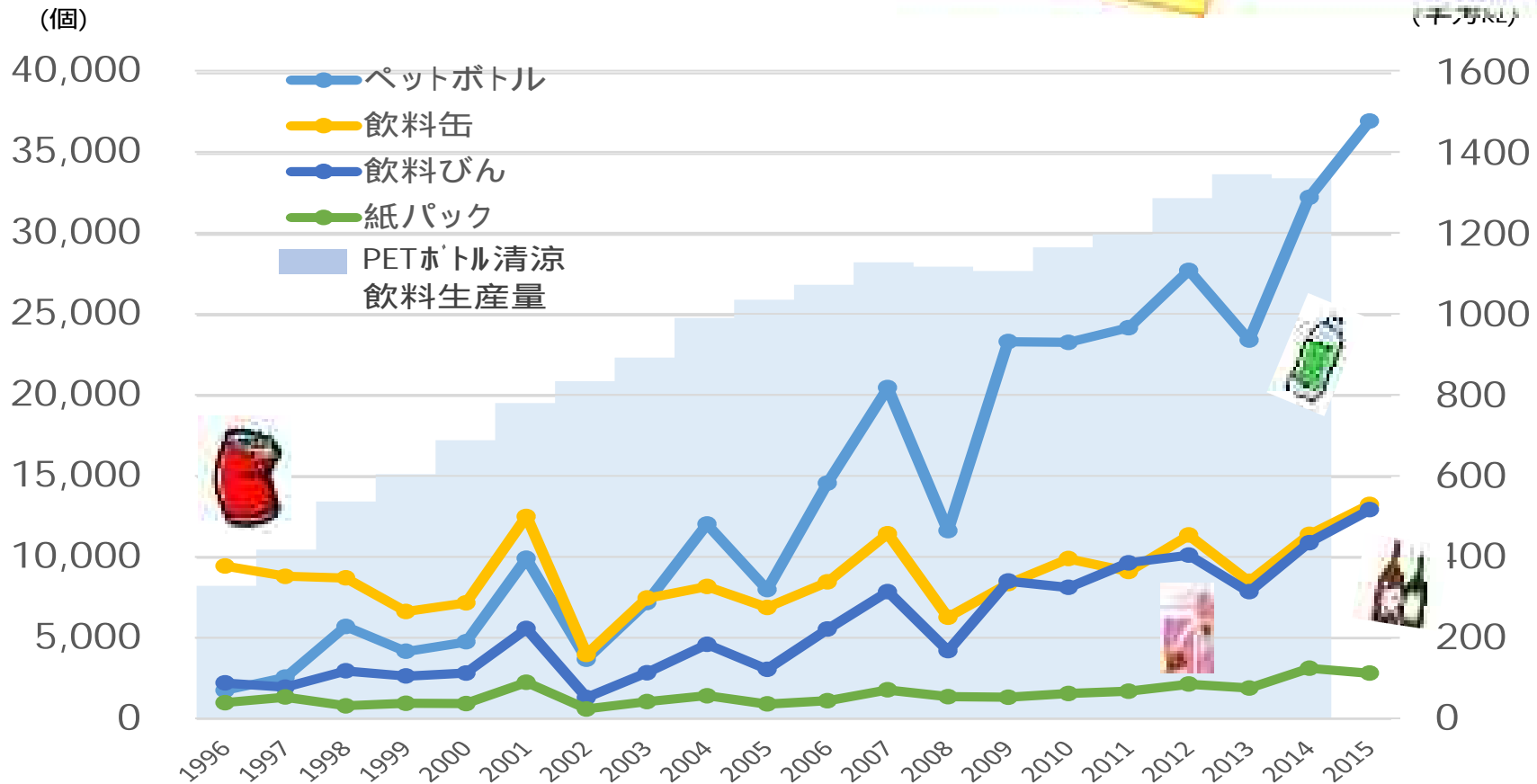
容器包装類が
77%
を占める



(破片ごみを除く)

ごみの状況 ~ 経年変化 ~

ペットボトルは急増
飲料缶は横ばい
飲料びんは増加傾向

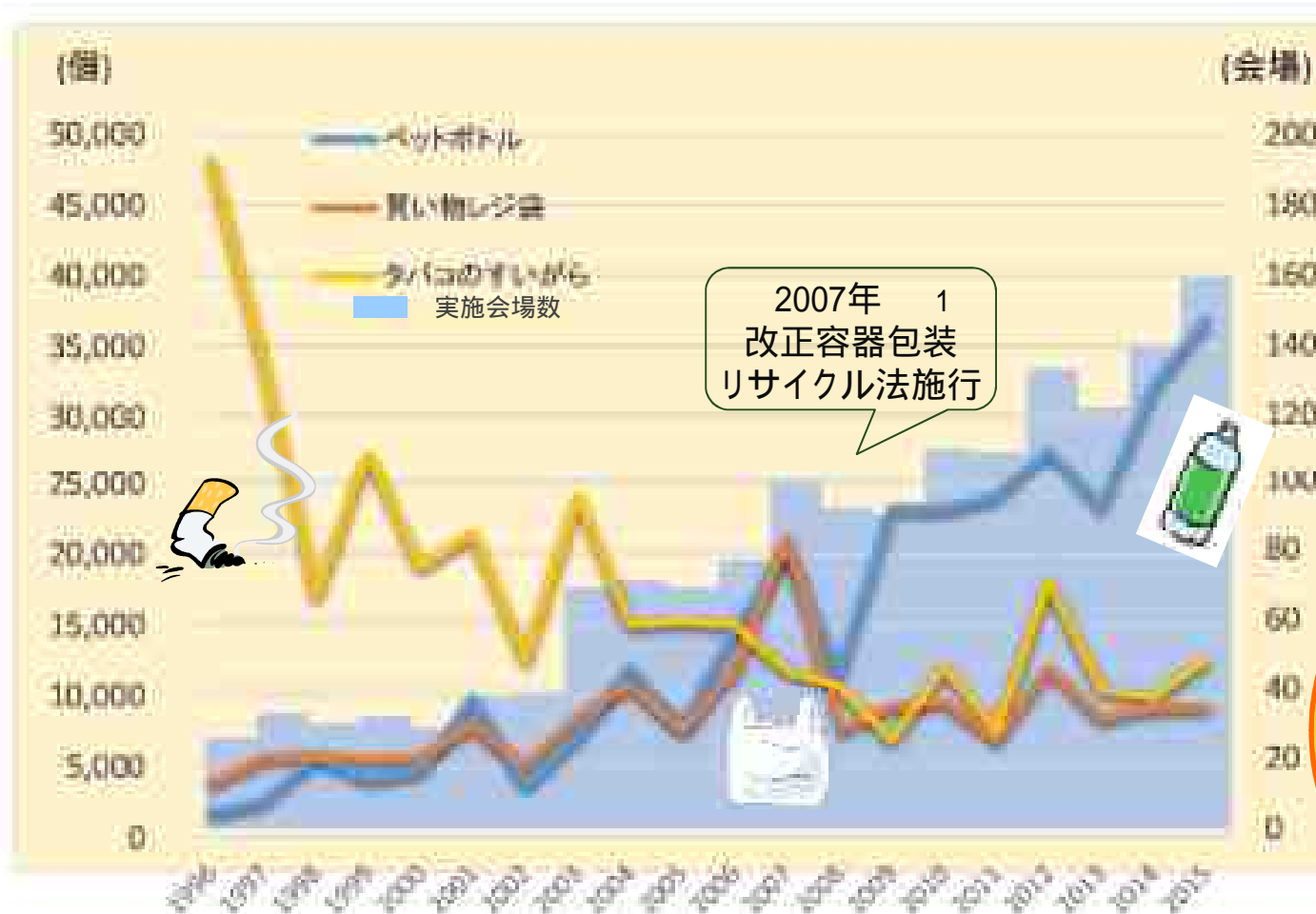


清涼飲料PETボトル生産量は、(一社)全国清涼飲料工業会の
容器別生産量の推移より

清涼飲料PETボトル生産量が増加してい
るのに伴い、ペットボトル回収数が増加

ごみの状況 ~減っているごみもあります~

タバコのすいがら、レジ袋回収数の推移



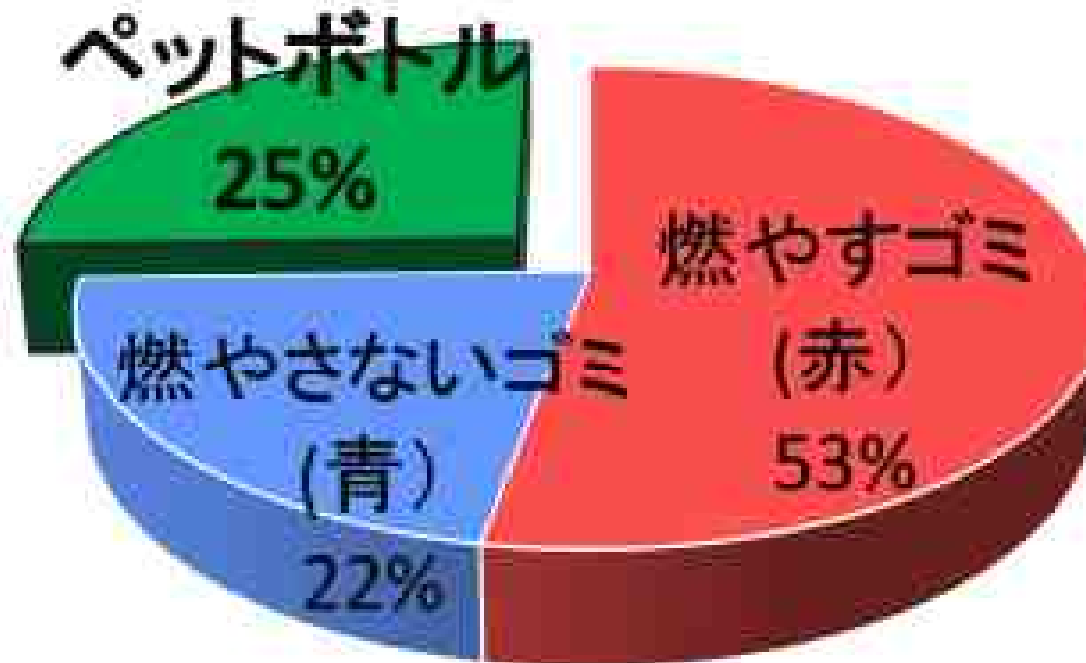
川ごみは
社会を
反映

- 1 改正の中でレジ袋有料化は条例化されなかったものの、国が定めるガイドラインにしたがって、レジ袋の有料化やマイバッグの配布など、容器包装廃棄物の排出抑制を促進する取組みが求められてきました。

ごみの状況 ~ ペットボトルの割合 ~

荒川で回収された全てのごみの中で、
ペットボトル1種類が、その容積の2割以上を占めます。

<荒川ペットボトル調査より>
ペットボトルの容積割合

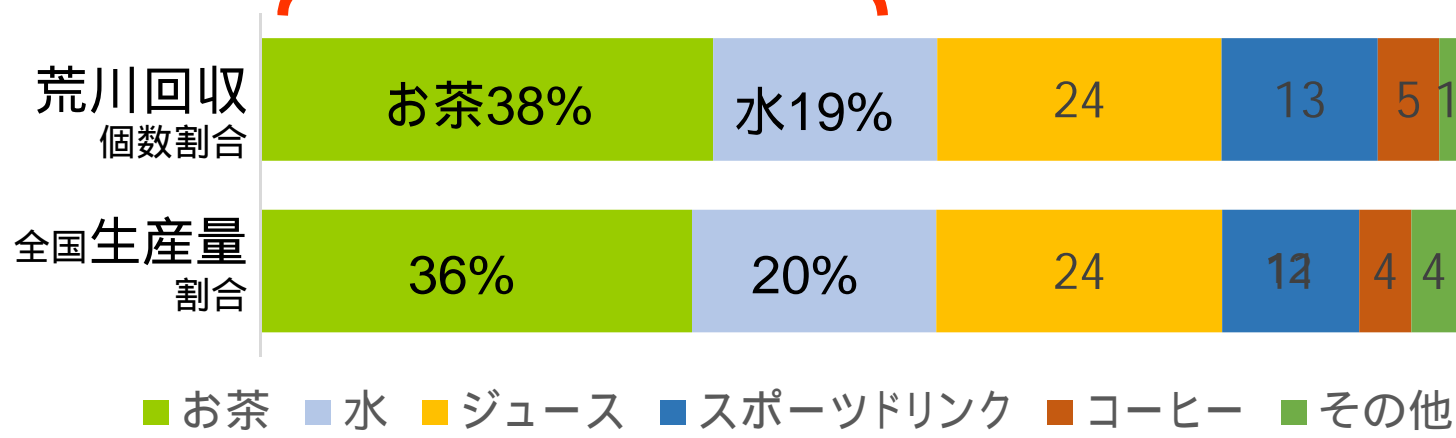


ごみ袋数 (2015年)
荒川クリーンエイドで分別回収した
ゴミ袋 5,601袋

ごみの状況 ~ 清涼飲料のPETボトル生産量との比較 ~

<荒川ペットボトル調査より>
ペットボトルの種類別内訳

「お茶と水」で 57%



ジュースは、炭酸・果実・野菜・その他飲料の合計
 ペットボトル調査の個数: 2010年9月～2013年12月の調査総数26,210個の内、アルコール・不明を除く20,427個。
 生産量: 出典「清涼飲料水関係統計資料」(一般社団法人 全国清涼飲料工業会)2012年のデータより算出。

荒川で回収したボトルの種類は、
 全国の清涼飲料PETボトル生産量の割合とほぼ一致。
 荒川のごみは社会を反映しています。

ごみの状況

残されたごみは、破片に・・・

プラスチック類はどんどん劣化・微細化します



2

荒川のごみは どこからどこへ？

- ごみの発生原因 -



上流側から

荒川中流域
河川敷への
不法投棄の山



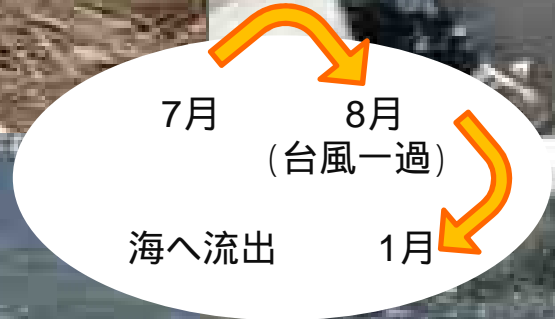
水際への漂着



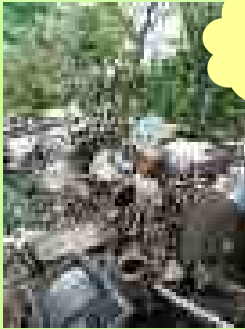
水際への漂着



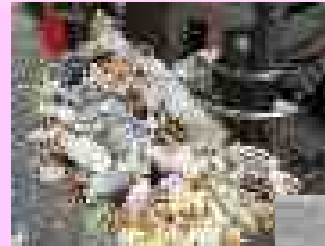
ごみの状況 ~溜まるだけではなく、海へ...~



ごみはどこから、どこへ……



不法
投棄



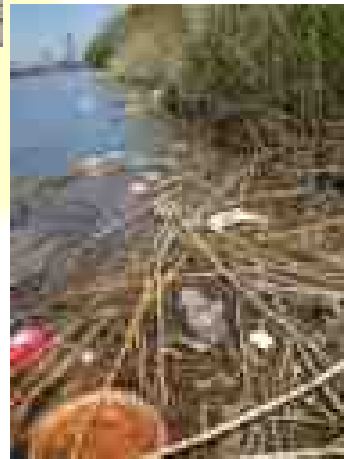
町
から



河川敷
利用者か
ら



さまざまなおみ
が流れ着きます



東京湾

川で拾われるごみの多くは
私たちの生活の中から出たもの
ばかり。



私たちの生活
と密接

世界の海へ

3

川のごみは
地球環境や社会に
どんな影響を？
-ごみのリスク-



ごみのリスク1・・・景観

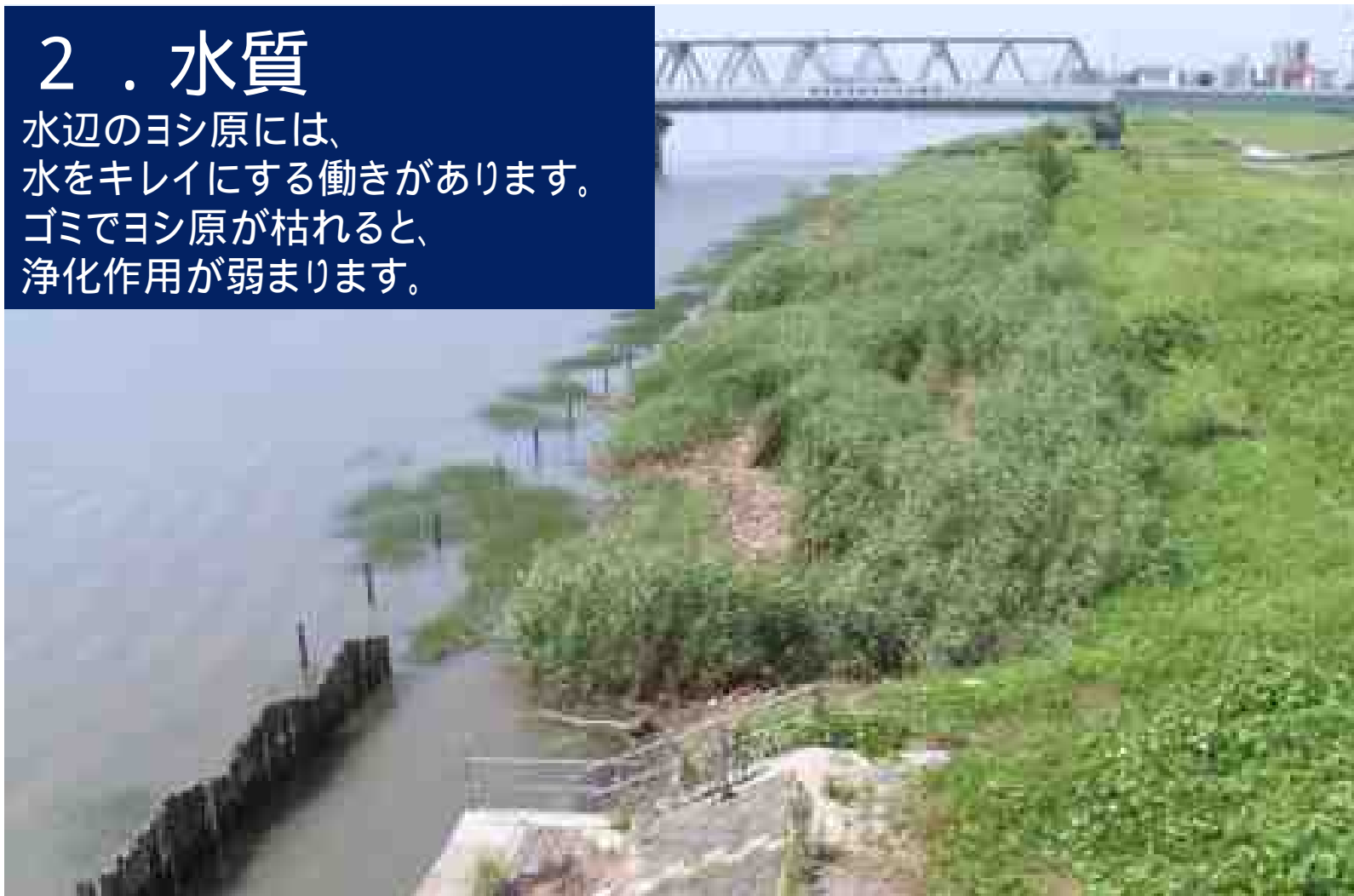
1 . 景観

川がゴミで汚れると
人の心も川から離れていきます。



2 . 水質

水辺のヨシ原には、
水をキレイにする働きがあります。
ゴミでヨシ原が枯れると、
浄化作用が弱まります。



3 . 生態系へのダメージ

生き物のすみかが失われる

ヨシ原は、野鳥、カニ、魚の稚魚など
多様な生き物のゆりかご。

生き物に絡みつく

ひも状、リング状のごみが野鳥や魚などの生
き物にからみつき傷つけます。

生き物が誤飲する

プラスチックのごみは、小さな破片となり、生
き物に取り込まれます。
顕微鏡レベルまで微細化したプラスチックは
生き物の体内にも取り込まれています。食物
連鎖で多くの生き物にも影響が出ています。

世界の海へ

遠く北西ハワイ諸島でも日本のごみが生き物
たちを苦しめています。

生態系へのダメージ

【植物の生育阻害】



自然環境や社会に、多大なダメージを与えるごみ

1. 回収

同じ場所に繰り返し漂着
汚れのため、リサイクル困難
劣化してどんどん破片化
拾えない場所にも堆積

2. 生態系への影響

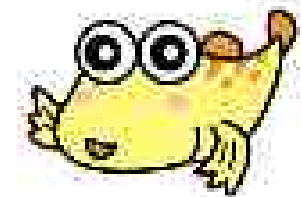
生き物にからみつく
生き物が誤飲する
植物の生育を阻害する

3. 越境する

4. 経済的な影響

膨大なごみ処理費用
観光への影響
漁業への影響

. これからに向かって



荒川で

はじめよう！

拾うだけじゃない

ごみ拾い

-参加者ととともに-



川で 拾い続ける

2009年春(実施前)



荒川クリーンエイドを毎年実施

長年蓄積されていた
ごみが除かれています。

2014年春(実施前)

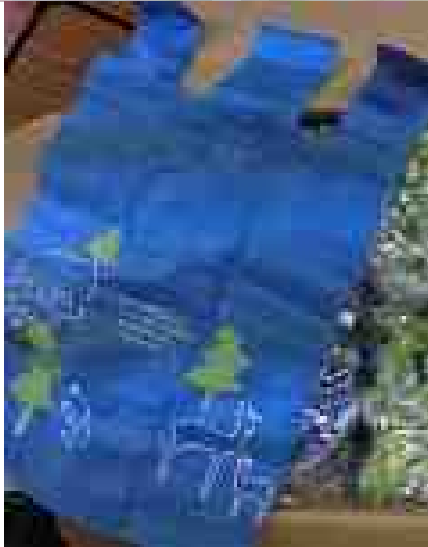


荒川クリーンエイド実施前の
河川敷の様子 (西新井橋上流)

荒川での活動の成果が見えてきています

拾い続けないと……

参加者とともに ~ごみを減らす方法を考え、行動



個人生活で、
会社で、
地域で、



ごみそのものを減らす、
ごみをできるだけ生まない
循環型のライフスタイル！
循環型の社会に！

できることから アクション

これからに向かって

はじめよう！ 捨うだけじゃない ごみ拾い

ごみ拾い活動の拡大

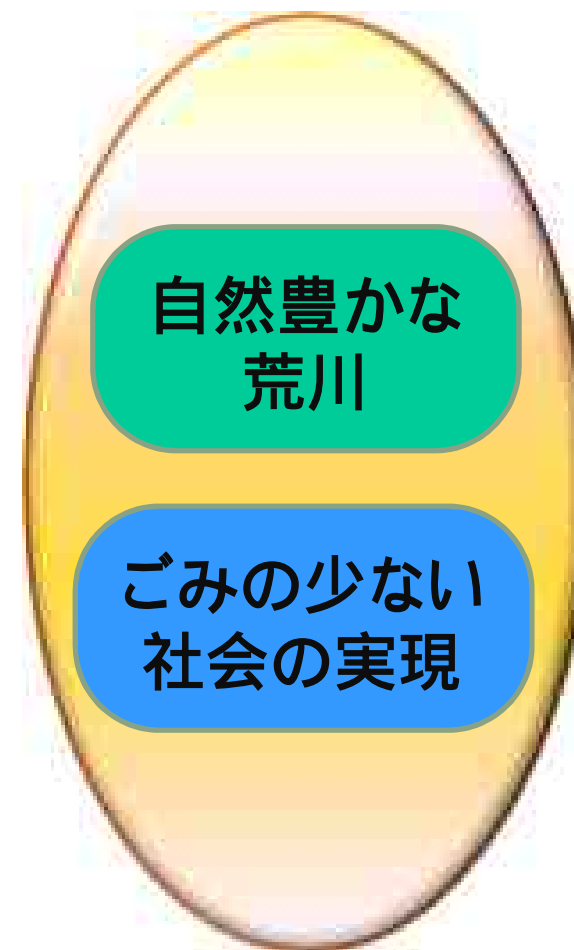
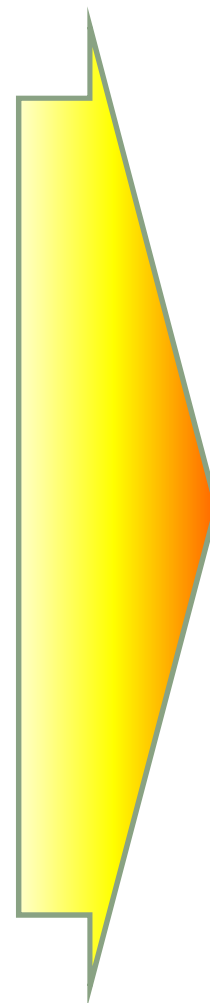
より広範囲に、より多くの参加者と共に

参加者への啓発

ごみへの関心を高め、行動変容を

ごみデータの活用

荒川のごみデータ 社会に発信



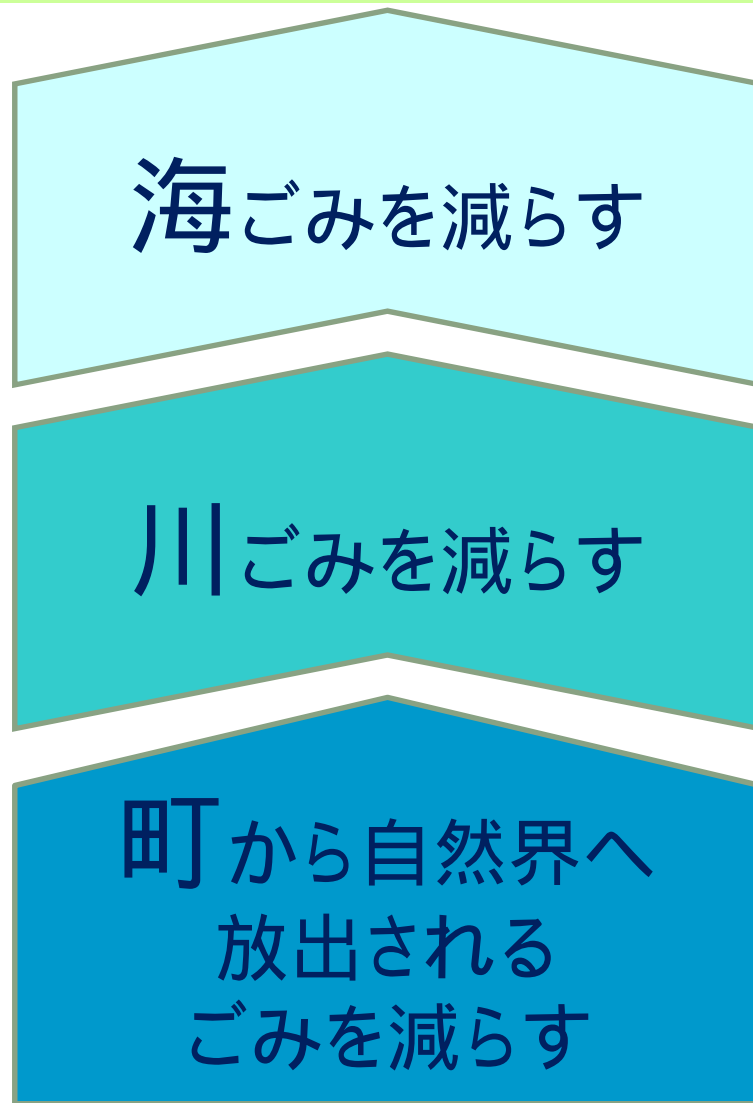
全国で

川と海の ごみ対策に向けて

-川ごみのネットワーク-



海ごみを減らすために・・・



対策の主な対象

他地域
海外

ごみ回収



利用者
生活者

啓発
(私たちの
ライフスタイル改善)

行政・民間・市民団体が連携

ごみとして出されない
社会の仕組みづくり

連携して解決を目指す

荒川だけでなく、
全国の川で！

拾うだけでなく、
発生抑制に向けた
対策を！

川だけでなく、
海や街の団体とも
連携

より多くの人への
啓発、
しくみづくり

全国の団体で連携して、川ごみ
問題の解決を目指す！

全国川ごみネットワーク

団体概要

【目的】川ごみ問題の解決に向けた情報交換と協働による諸活動を行い、川の環境を保全することを目指す

【活動内容】シンポジウム、情報交換、啓発・環境教育活動、連携活動、情報発信等

2016年1月22日(金)「**第2回川ごみサミット**」開催。

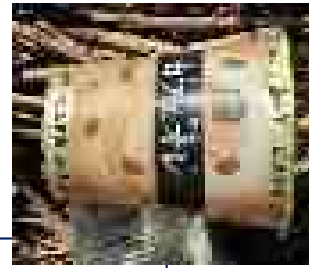
2016年「**全国水辺のごみ調査(仮称)**」実施計画中

(事務局:NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム 内)

海と河川流域の一体となった取り組みを、
川と海の民間団体が連携し
「普及啓発・発生抑制対策」を展開。

全国水辺のごみ調査 2016年 春～秋(予定)

1. ペットボトル 2. レジ袋 3. カップ型飲料容器



水辺のごみ
見つけ！

(案)

水辺のごみ見つけ！ 記録シート -2016年度水辺のごみ調査-

調査した場所(または河川名)

調査年月日(西暦) 調査グループの人数 ごみを見つけた場所(経路) 調査した人数(必ず5人以上)

※水辺にごみを見つけた場合、必ずこのシートを記入してください。


種類	数量	備考
ペットボトル		
レジ袋		
カップ型飲料容器 (紙製容器を除く)		

※水辺、特に水辺の近くで、ごみを見つけたら、必ずこのシートを記入してください。また、見つけたごみを回収してください。

水辺のごみの
散乱状況を把握

ごみの散乱防止
対策

水辺の
環境保全



美しい川や海を取り戻していくこと
を目指します

～ストップ川ごみ！海に出る前に～

ありがとうございました